

村長室へようこそ / 東白川村長のメッセージ 2019年3月

平成最後の年も早や2か月が過ぎました。

今年の冬は雪がほとんどなく、これからの水不足が心配されますが、一雨ごとに暖かくなり「踏の臺」「ロウバイ」「小鳥のさえずり」…あちらこちらに春の兆しを感じます。

3月は巣立ちの季節です。村内の小学校では16名、中学校では27名の児童生徒が卒業式を迎えます。ふるさと学習発表会や、かがやき学習発表会で、卒業生のふるさと東白川村に対する温かい思いや、地域への感謝の言葉を聞く事ができ本当にうれしく、また頼もしく感じました。皆さんの将来に幸多くあれと願わずにはおられません。

そして3月は締め括りの月でもあります。

振り返ってみますと、4月の村長選挙を経て2期目の最初の年度でした。「つちのこフェスタ」を雨の影響で中止としたことが1年間を暗示したように台風や、大雨、地震などが各地に甚大な被害をもたらしました。

本村でも7月の西日本豪雨災害では初めての大雨特別警報が出されました。

9月の台風21号では、近年にはなかった風倒木被害による長期停電という災害を体験しましたが、人命に関わるような大災害に至らず安堵しました。

しかし、いつ、どこで起こっても不思議ではない災害に対する備えを一層強化しなければならないと感じました。

村政全般では、予定しておりました医療福祉ゾーンの整備事業、CATVの光ファイバー化事業、はなのき会館の改修事業等一部工期の遅れはあるものの順調に進展、完了、あるいは予算化の目途をつけることができました。

10月に行ないました集落座談会では、皆様のご意見を多数いただき、今後の課題も改めて確認ができているところであります。

平成30年度、大過なく経過しております。これも村行政に対する皆様のご理解とご協力のお陰と感謝申し上げ、新しい年号に変わり、立村130周年という記念すべき新年度に向けて、人口減少と超高齢化の波に翻弄されないようしっかりと足元を見つめながら村づくりに邁進してまいります。

平成31年3月

東白川村長 今井俊郎